

千葉市動物公園の動物科学館がリニューアルオープンします！ ～熱帯雨林を通して地球環境を考え行動するきっかけとなる施設に生まれ変わります～

千葉市動物公園では、令和6年1月から館内の学習展示施設改修のため休館していた動物科学館が改修を終え、令和7年3月29日（土）にリニューアルオープンしますので、お知らせします。

また、令和7年4月28日（月）には動物公園開園40周年の節目の日を迎えますので、併せてお知らせします。

1 リニューアルオープンについて

（1）オープン日

令和7年3月29日（土）

※式典終了後から動物科学館の観覧を開始します。

（2）展示コンセプト

○展示タイトル

「生命の森 热帯雨林」

○メッセージテーマ

- ・驚きに満ちた世界、熱帯雨林へ
- ・動物園で熱帯雨林を知り、学ぶ

○展示の目的・理念について

多くの絶滅危惧動物が生息する熱帯雨林の環境の過去と現状を知り、地球環境など熱帯雨林の抱えるさまざまな問題を考え行動するきっかけとなる学習展示施設となります。

（3）主な展示の概要

主な展示	概要
1 エントランスホール	「ボルネオ島の熱帯雨林」をジオラマで再現
2 热帯雨林とは	熱帯雨林減少の理由やその影響を映像やパネルで解説
3 人が森にしてきたこと	人が熱帯雨林から受けてきた恩恵と人による森林の破壊の歴史を解説
4 人が森にできること	個人での意識改革から動物園の役割や活動について紹介
5 林床の世界	ミクロの視点で特異な根や土壤環境を天井投影映像等で解説
6 植物の拡大戦略	植物が分布を広げるための戦略を映像や実物標本等で解説
7 地球環境と熱帯雨林	熱帯雨林が担う地球規模の循環を投影映像で解説
8 世界最大級の森に暮らす小さなサルたち	観覧通路をマーモセットの生息地をイメージした照明や植栽で没入感を演出
9 ログルーム	動物が生きる工夫や行動の秘密を骨格標本や剥製を通して解説
10 バードホール	熱帯雨林に生息する動物たちを観察しながら生体を学ぶ

※別紙「リニューアルイメージ」参照

2 展示以外のリニューアルについて

(1) 授乳スペース

家族も一緒にご利用可能な育児ルーム（授乳室・キッズスペース等）を2階に新設

(2) カフェ「Utan Café（ウータンカフェ）」

2階喫茶室をリニューアル。展示テーマと連動させ、「動物がくらす世界、環境をそばに感じて、さまざまな持続可能性を考える」をコンセプトに、フェアトレードやエシカル、地産地消など環境配慮の商品を取り扱う。

※主な商品：スパイスカレー、バインミー、オープン記念グッズ、関連書籍 など

3 オープン式典・記念講演会

時間および場所	内容
オープン式典 10：00～10：30 千葉市動物公園 動物科学館前	主催者挨拶、来賓祝辞、テープカット 等
記念講演会 13：00～15：50 動物科学館1階レクチャールーム	記念講演 「熱帯の「窓」—動物科学館」 (登壇者) 沖縄大学人文学部 教授 盛口 満 様 「動物園と生物多様性保全」 (登壇者) 日本動物園水族館協会 会長 村田 浩一 様

※記念講演は定員150人、先着順

4 プレス向け内覧会

(1) 日時

令和7年3月22日（土）13：00～15：00

(2) 参加申し込み

3月21日（金）17：00までに千葉市動物公園企画広報班までご連絡ください。

電話252-7566

※当日は他の関係内覧者も参加しますのでご了承ください。

5 開園40周年記念関連情報

昭和60年に開園した本園は、令和7年4月28日（月）に開園40周年の節目の日を迎えます。40周年記念関連イベント等については、詳細が決まり次第、お知らせします。

(1) 開園40周年記念ロゴについて

開園40周年を盛り上げるために記念ロゴを制作しました。印刷物やホームページ等で積極的に使用し、これから実施する開園40周年記念関連事業のPRを図ります。

(2) 「ふれあい動物の里」の名称変更

40周年を契機に、「ふれあい動物の里」を「わくわくあにまるフィールド」に名称変更します。



開園40周年記念ロゴ